

あたたかい子
かしこい子
たくましい子

学校だより

つよし

—第6号—

令和2年5月18日
平戸市立津吉小学校
文責 校長 田川定司

この危機を無駄にするな

「目には青葉 山ほととぎす 初鯉」とは江戸時代に詠まれた山口素堂の俳句です。初夏を代表する風物を視覚→聴覚→味覚の順に三つ並べた明解さのためか、日本人なら知らぬ者はいないというほどの有名な句となりました。江戸時代には、初物を食べると75日寿命が延びると好まれました。また、初物の代表『初鯉』は、勝負に「勝つ魚」と縁起の良い魚として最も珍重されました。5日の「こどもの日」は「立夏」でもあり、暦の上では夏を迎えました。学校からは屏風岳や佐志岳の青葉が目に見え、鮮やかに一望できます。田んぼも化粧直しをし、かえるの鳴き声が響き渡っています。

さて、学校が再開され1週間が過ぎました。長期にわたる臨時休業の期間、子供たちは学習に生活に大変良く頑張っていました。御家庭の御協力に感謝いたします。外出を控え、我慢を強いられた毎日だったと思います。学校では、先週1週間、個人面談を実施し、休業中の学習・生活を確認するとともに、心の健康を確かめました。今後も続く不安な生活の中、心身の不調等が見られる場合は、担任をはじめ、毎月来校するスクールカウンセラー等に御相談ください。

昭和女子大学長の坂東眞理子さんは、今回のコロナウイルス感染症の世の中の混乱に対して、「Never Waste a Good Crisis」（この危機を無駄にするな）と述べています。グローバル化や高度情報化が進み、何が起こるかわからない時代になってきました。予測困難なこれからの社会を生き抜いていくためには、今回のように想定外のことが起きた時に、いかに自分を成長させるかが重要になります。今回の経験が、子供たち自身の生き方に教訓を与え、生きる糧となることを願っています。

針尾前PTA会長が受賞

津吉小学校前PTA会長の針尾務様が、平戸市PTA連合会より、その功績を認められ市P連表彰を受けました。針尾前会長は、堤小学校・津吉小学校、両校のPTAにおいて、長期に亘って、副会長・会長を務められました。特に平成29年度の3校合併（津吉・堤・中津良）の時には、堤小学校の閉校に向けて尽力されるとともに、合併に向けた3校合同会議においても合併がスムーズに進むよう取り組まれました。また、合併後も津吉小学校PTA副会長、次年度は会長と歴任され、広い視野で学校・地域を支えていただきました。さらに今年度は、津吉小学校PTA顧問や学校評議員として、本校の教育活動に引き続き御尽力いただいています。針尾前会長の本校教育活動に対する御功績に感謝申し上げますとともに、受賞をお祝い申し上げます。

